

オカムラグループの環境マネジメント

オカムラグループは、環境方針に基づいて環境経営を推進していくために、グループ会社を含めた組織体制を整備するとともに、環境マネジメントシステムの構築・運用を通じて、継続的な取り組み推進と環境パフォーマンスの向上を目指しています。

環境マネジメントシステムの構築・運用

オカムラグループは、グループ各社でISO14001*規格に基づく認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。オカムラの各部門とグループ各社に環境管理責任者を配置し、グループ全体として環境への取り組みを管理・推進する体制を構築しています。

また、社外の環境関連団体などと積極的に交流を図り、環境経営・環境管理などに関する新たな知見や最新情報の把握に努め、グループ全体の環境マネジメントのレベルアップに結びつけています。

* ISO14001：国際標準化機構（ISO）が定める環境マネジメントシステムの国際規格

経営層・環境管理責任者によるマネジメント

オカムラグループ全体として環境経営を推進していくために、年2回開催されるサステナビリティ委員会において、環境長期ビジョンや環境中期計画の目標達成に向けた年間計画の確認と取り組みにおける課題などの討議を行っています。

また、グループ環境管理責任者会議を毎月開催し、環境関連の法規制や国際動向などへの対応をはじめ、環境マネジメントシステムの運用状況、各社・各部門における課題や対策など、

さまざまな事項について議論を行い、グループ各社間の意思疎通と情報の共有化を図るとともに、改善事例などを水平展開しています。

外部機関による審査と内部監査の実施

ISO14001規格に基づく審査は外部機関により毎年実施され、オカムラのグループ認証*と関係会社（製造拠点国内3社、海外1社）の単独認証で有効性が確認されました。

また、グループ認証では各サイトの内部環境監査とグループ内部環境監査をそれぞれ年1回実施しています。監査結果はグループ内で水平展開を行い、グループ環境管理責任者会議

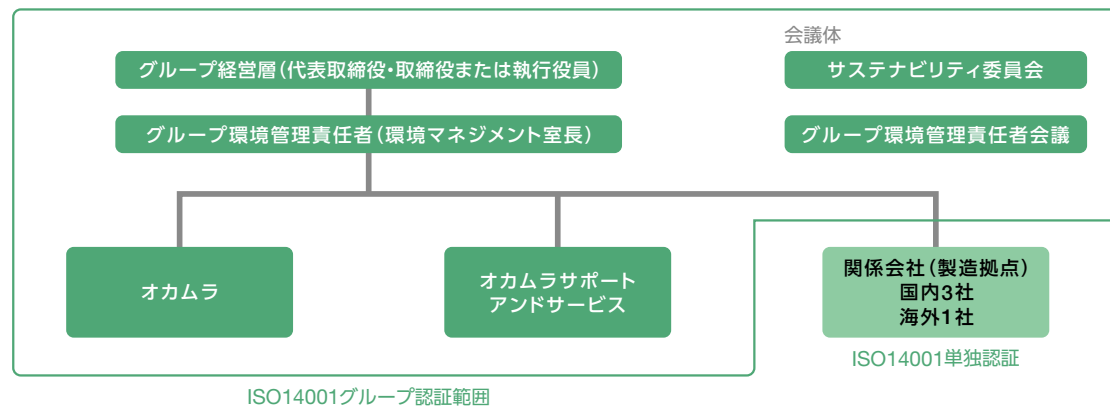
とサステナビリティ委員会に報告し、環境マネジメントシステムの継続的改善につなげています。

* オカムラのグループ認証：オカムラ、オカムラサポートアンドサービス

緊急事態の対応

オカムラグループでは、緊急事態が発生したときの対応について迅速かつ的確な対応により事態の拡大防止と早期収束を図ることを目的に「緊急事態対応規程」を定めています。環境面ではISO14001で有害物質の漏えいを緊急事態と特定し、監視するとともに対応手順を定め順守しています。各サイトでは防災訓練など入居拠点の対応規定にのっとり災害時の備えをしています。（関連 [▶P.135](#)）

オカムラグループの環境マネジメントシステム推進体制



また、生産事業所では事業を行う地域の行政機関との連携協定締結や、地域の防災活動に参加しており、富士事業所では工業用水や生活用水として利用している富士山の伏流水を、災害時に市民提供する連携協定を御殿場市と締結しています。（詳細 ▶P.149）

環境教育・啓発活動

オカムラグループは、全ての事業活動において環境負荷低減活動を実践することを環境方針に掲げており、実際に活動を推進する従業員一人ひとりの意識向上を目的に、環境教育・啓発活動に注力しています。

オカムラの環境教育

種別	対象	名称	内容
必修教育	新入社員	新入社員研修	● 環境問題 ● EMS ^{*1} 導入編:企業活動と環境負荷
		新入社員フォローアップ研修	● EMS活動実践編
	キャリア入社者	キャリア入社者研修	● 環境問題 ● EMS導入編:企業活動と環境負荷
	全従業員	メール配信/社内報	● カーボンニュートラルに向けた世間動向、オカムラの現状、取り組みなどタイムリーな情報提供
部門教育 (ISO14001による)	全従業員	一般教育	● 環境方針や全社の環境目的・目標・実施計画 ● グリーンオフィス活動 ● 法務情報に基づく同時引き取りに関する教育(営業担当)
		専門教育	● 各部門ごとの環境目的・目標・実施計画 ● 著しい環境側面に応じた教育訓練 ● 産業廃棄物管理マニュアルに基づく教育(施工管理部門)
		管理者教育	● 管理者としてのEMSなど
FSC®教育 (CoC認証による)	全従業員	一般教育	● 認証制度の理解
	関連部門	専門教育	● 管理規定、手順の理解
体験型教育 ^{*2}	全従業員	生物多様性・森林再生研修 推進担当者	● 生物多様性保全・森林整備(実習含む)
			● 「ACORN」活動推進のための知識

* 1 EMS:環境マネジメントシステム * 2 体験型教育(詳細 ▶P.67)

体系的な環境教育の実施

従業員が、企業活動に伴う環境負荷、オカムラグループの環境方針や計画、環境マネジメントシステムに基づく取り組みなどについての理解を深め、目標に向かって具体的な行動に移せるよう、新入社員・キャリア入社者を対象とする必修教育と、各部門がISO14001に基づきプログラムを整備した部門教育を行っています。

また、FSC®認証に関わる製品、資材を取り扱う部門では、適正な運用を徹底するため、専門教育を実施しています。全従業員に対しては、ISO14001の教育の中にFSC®認証に関する項目を設け、制度の理解を促しています。（関連 ▶P.65）

サステナビリティ活動表彰制度

事業活動における環境負荷低減と持続可能な製品・サービスの開発を促進するため活動表彰をしています。

2003年度からの環境活動表彰を改編し、2022年度からはSDGsの目標を加味した3部門に分けて優れた活動を表彰する制度に拡大しました。

この制度は、従業員のサステナビリティ活動への意識を高め、積極的な取り組みを促進しています。

サステナビリティ表彰(2024年度)

(全表彰14件から抜粋)

表彰部門／受賞内容	受賞部門
環境負荷低減・削減の部(設備、省エネ)	
太陽光発電および使用による環境負荷低減	Siam Okamura Steel Co., Ltd.
フォークリフト電動化によるCO ₂ 排出量削減	御殿場事業所
コンプレッサー老朽化設備更新によるエネルギー削減	パワートレーン事業部
サステナブル事業推進の部(製品・サービス・物件提案など)	
冷ケースの故障予知AI研究開発	商環境事業本部
廃衣料のアップサイクル開発	商環境事業本部
ZEB化の取り組み	セック株式会社
間伐材配合樹脂の活用	オフィス環境事業本部 マーケティング本部
サステナブルな社会に向けた活動の部(従業員、地域社会、学校など)	
地下貯水槽からの水提供とモバイル充電エリア設置など	富士事業所
ビオトープ富士 野鳥生息のための環境整備	富士事業所

環境コミュニケーション

事業活動に関する環境情報を開示し、ステークホルダーの皆さまとの双方向のコミュニケーションに努めることで、グループ全体の環境活動の充実につなげています。

オカムラグループでは、1995年に環境パンフレット『豊かな未来へ』を発行して以来、さまざまな媒体を通じて環境情報を発信しており、環境関連のイベントやオカムラの新製品発表会でも環境への取り組みを紹介するなど、環境コミュニケーションの充実に努めています。また、環境への取り組みに関して、ステークホルダーの皆さまから寄せられたご意見・ご提案を、関連部門にフィードバックし活動に反映させるとともに、より充実した情報発信に役立てています。

オカムラグループの情報開示は環境省が主催する「第6回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン」の環境サステナブル企業部門において、特別賞を受賞。同時に、「環境サステナブル企業」「環境開示プロGRESS企業」に選定されました。（関連 [▶P.27](#)）



環境活動を通じた地域社会との共生

オカムラグループのものづくりや事業活動で得た知見を生かした環境教育の実施、地域の環境保全活動への参画などを通じて、地域社会との共生を図るとともに環境意識の向上に貢献しています。（関連 [▶P.150](#)）

小学校での環境出前授業の実施

オカムラは、子どもたちの環境意識の向上を目的に、従業員

が小学校に出向いてオカムラが蓄積してきた知見などをもとに授業を行っています。授業の中では、子どもたちにとって身近な学校の机とイスを題材に、世界と日本の森林の現状や資源の有限性を伝え、環境問題が身近な問題であることを学び、自分たちにできることを見つけて行動する気付きの場を提供しています。

横浜市立二俣川小学校では6年生の卒業記念校歌の彫刻修繕を支援しました。事前に木材に関する授業で木に対する知識と関心を深めた上で、実際の修繕作業に取り組みました。



出前授業の様子



先輩が製作した作品を修繕

環境出前授業実績

実施年度	対象人数	対象学校数
2007-2019	4,324名	51校
2020	197名	4校
2021	506名	8校
2022	865名	13校
2023	365名	7校
2024	528名	10校

関東学院大学での寄付講座

オカムラが会員となっている横浜グリーン購入ネットワーク*が実施している寄付講座で2023年に引き続き講師を務め、「木材利用によるサステナビリティの推進」をテーマに、学校法人関東学院大学にてオカムラの環境への取り組みを紹介しました。

* 横浜グリーン購入ネットワーク：地域とのつながりを大切にし、市民と企業・団体、行政が協力して環境に配慮した製品・サービスの購入や提供を推進していくことを目的に活動するネットワーク（グリーン購入ネットワーク（GPN）の横浜における地域組織）

 横浜グリーン購入ネットワーク
http://www.y-gpn.org

産学連携による活動

オカムラは、家具デザインの教育支援、地域材の利活用を通じた人材育成・地域活性化の取り組みの一環として、2014年度から東北芸術工科大学（山形市）プロダクトデザイン学科の「家具デザイン演習」（藤田 寿人教授）に協力し、特別講師を務めています。2024年度はオカムラの高島事業所のメンバーが木製品設計や製造工程に関わるアドバイスを含め講義に参画。高島事業所での工場見学も実施し学生が実際に製作する家具の部材を切り出す工程も学びました。デザインのプレゼンから何度も検討を重ね、完成後に高島事業所で発表会を実施。未来の「木製家具デザイナー」の育成支援とともに、オカムラへ興味を持ってもらう貴重な機会となりました。

また、この活動の一環として、山形県小国町との産学官での連携活動として継続してきた同町の3歳児に贈る「ファーストファニチュア事業」を、2024年2月にも実施しました。



小国町での贈呈式で自分だけの家具を受け取る



高島事業所で製造工程説明を聞く学生たち